

「科研費審査システム改革2018」説明会を実施しました。

平成28年4月26日に「科研費審査システム改革2018」説明会を文部科学省と日本学術振興会が合同で開催しました。本説明会は、「科研費審査システム改革2018」をはじめ、科研費改革の趣旨・目的などの全体像について情報を提供し、より質の高い審査システムの構築に向けて、学界・研究者をはじめとし、多くの方々の理解を得ることを目的として、実施しました。

当日の説明内容の動画や資料等については、下記のホームページをご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1367693.htm

平成28年度科研費の交付内定について

科研費制度では、研究者の方々に年度当初から研究に着手していただけるよう、早期の交付内定に努めています。

平成28年度の科研費については、平成28年5月31日現在、以下の研究種目について交付を内定しています。

「特別推進研究」、「新学術領域研究（※）」、「基盤研究（S）」、「基盤研究（A・B・C）（※）」、「挑戦的萌芽研究」、「若手研究（A・B）」、「研究活動スタート支援（継続）」、「奨励研究」、「研究成果公開促進費（研究成果公開発表（B・C）・国際情報発信強化・学術図書・データベース）」、「特別研究員奨励費（第1回）」

（※）研究領域提案型の新規の研究領域分及び基盤研究（B・C）の特設分野研究の新規分を除く。

なお、科研費の交付内定後、科学研究費助成事業データベース「KAKEN」で交付内定情報を公開しています。

平成28年度科学研究費助成事業の審査結果等の開示について

科学研究費助成事業の審査結果等については、電子申請システムを利用した電子的開示を下記の要領で行っています。

【開示期間】

- 平成28年4月22日(金)～平成28年11月25日(金)

【対象種目】

- 新学術領域研究（研究領域提案型）（公募研究）
- 基盤研究、若手研究、挑戦的萌芽研究
- ※特別推進研究、基盤研究（S）及び基盤研究（B・C）の特設分野研究については別途開示

【開示内容の閲覧方法】

- 独立行政法人日本学術振興会のWebページ「電子申請のご案内」に掲載の「研究者向け操作手引（審査結果開示用）」をご確認ください。

URL: <http://www.shinsei.jsps.go.jp/kaken/topkakenhi/download-ka.html#tebiki1-2>

※審査結果等の開示は、審査の結果採択されなかった研究課題及び審査に付されなかった研究課題について、研究計画調書提出時に開示希望のあった研究代表者に対してのみ行うものです。

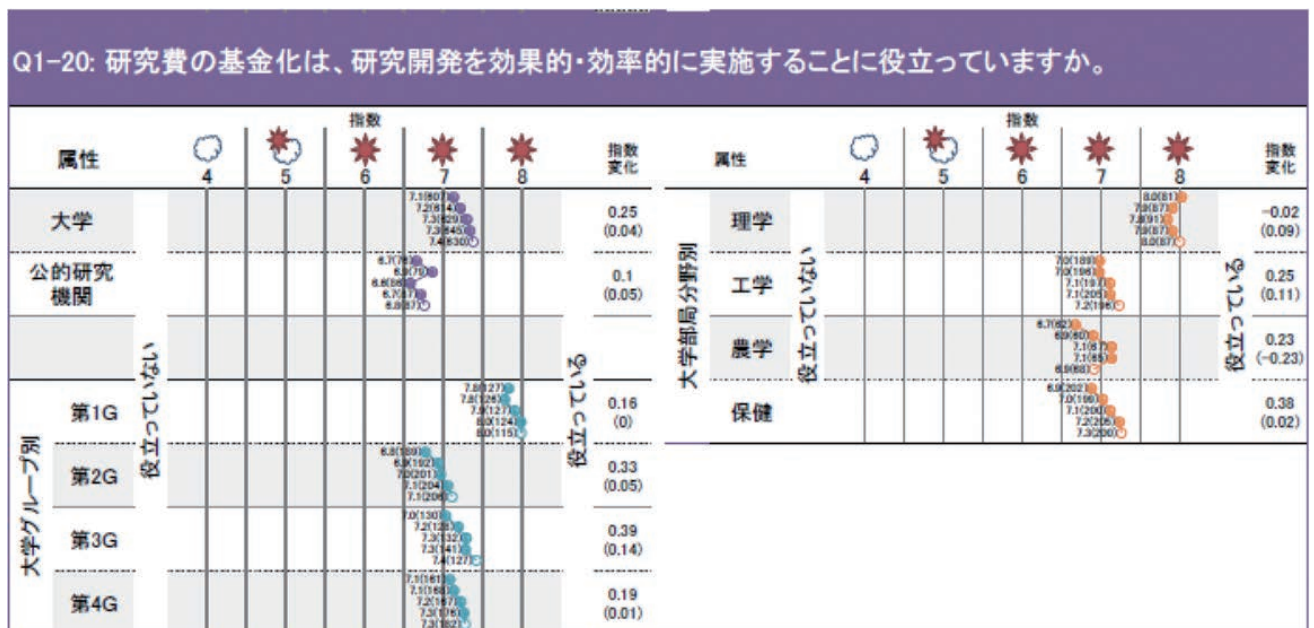
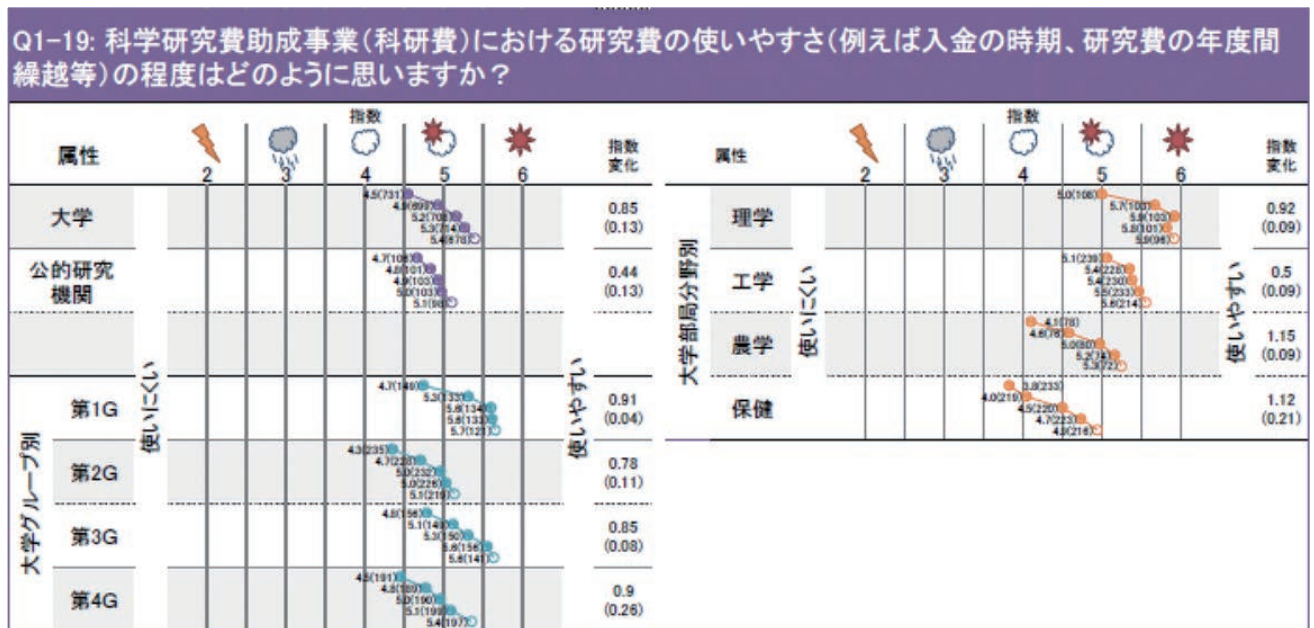
科学技術の状況に係る総合意識調査（NISTEP定点調査2015）の結果について

日本の科学技術やイノベーションの状況変化を把握するため、科学技術・学術政策研究所により、産学官の研究者・有識者に対する意識定点調査が実施（2011～2015年度の5年間にわたって実施する調査の5回目）され、調査結果が公表されています。（<http://www.nistep.go.jp/archives/26419>）

● 「科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP定点調査2015）」 [NISTEP REPORT No.166, 167]

科研費制度に関する調査結果は下図のとおりですが、今回の定点調査において最も指数が上昇しているのは、科研費における研究費の使いやすさについての質問となっています。

また、科研費制度では、2011年度から研究費の基金化を導入していますが、研究費の基金化に関しての質問は2011年度から引き続き、定点調査の質問の中で指数が一番高い値となっており、科研費制度は研究者や有識者から高い評価を受けています。



※指数は4.5～5.5でほぼ問題はなく、5.5を超えると状況に問題はないことを示しています。

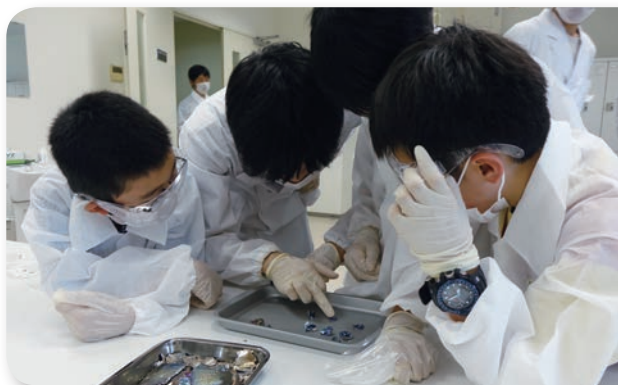
小・中・高校生のための プログラム



K A K E N H I

「ひらめき☆ときめきサイエンス」とは、大学や研究機関で「科研費」により行われている最先端の研究成果に、小学校5・6年生、中学生、高校生の皆さんが、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらうプログラムです。

○平成27年度に実施されたプログラムの事例紹介



『虹色に輝く宝石を作ってみよう』

長谷川 靖洋（埼玉大学・大学院理工学研究科・准教授）

ビスマス材料を使った宝石作りを通じて、熱電変換に代表される将来のエネルギーについて考察しました。



『世界文化遺産の森を未来につなぐ！ —原生林とシカのおもしろい関係を探る—』

前迫 ゆり（大阪産業大学・人間環境学部・教授）

原始林を観察するフィールドワークから、シカへの影響を明らかにし、生態系における植物と動物の関係性について学びました。



『体感しよう！小さく生まれた子どもの命を 救う・癒す・育てるケアの力—2015』

井上 みゆき（山梨県立大学・看護学部・教授）

会場を新生児集中治療室（NICU）に見立て、新生児ケアの模擬体験をし、新生児医療について学びました。

平成28年度も、夏休みを中心に、多くの体験プログラムを実施します。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」の詳細は、日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス」ホームページ (<https://www.jsps.go.jp/hirameki/index.html>) をご覧ください。

🔍 ひら☆とき